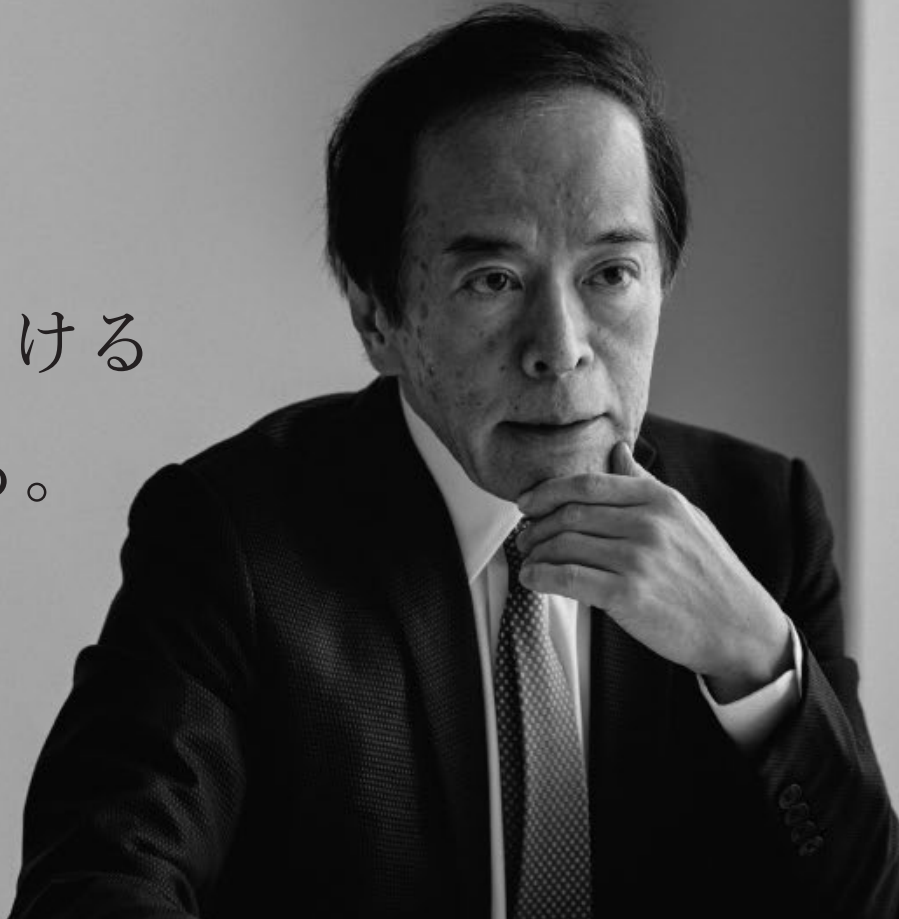


# 女性が、 40年以上働き続ける 時代がやってくる。

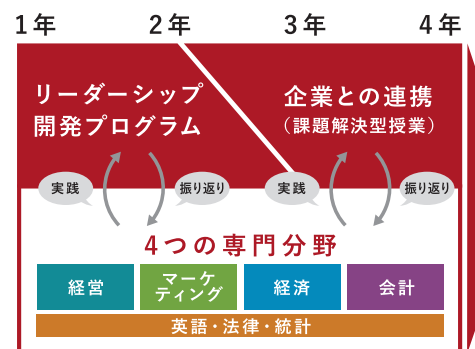
ビジネス学部(仮称)学部長(予定)

植田 和男 *Kazuo Ueda*



今、女性の働く環境は大きな転換期を迎えています。その一つが、高齢化の進む日本において「女子の労働参加率」が顕著に増加していること。中でも「16～64歳」は2016年には66%を超えており、米国よりも高い水準となっています。特に「16～54歳」までの参加率は80%であることから、そう遠くない将来、「55-64歳層」も80%に近い参加率へと上昇する可能性があります。今後、指導的立場もあわせて女性が40年にわたって働き続ける時代が到来するのです。もう一つが、AIに代表される新技術が労働市場に与える影響です。単純な事務作業は新技術によって代替されることが想定されるため、AIがとってかわれない職種に就くことが重要となります。特に文系学部において新しい時代に即した戦力となるには、①ビジネスで活躍するための何らかの専門知識を身に付けている人。②分野をまたがった仕事に発展の余地があることから、複数の領域の知識を併せ持つ人。③IT技術の基礎となるプログラミング・統計知識を持つこと。④教科書にはない応用問題、新しい課題へのチャレンジ精神。⑤多様な能力を持つ人々と協働しチームで課題を解決する能力など、これらの力を持つことが望ましいと考えています。2020年に開設予定の『ビジネス学部(仮称)』では、上記①～⑤をカバーするための独自のカリキュラムやしきみを備えています。これからの女性が5年後、10年後、そして40年以上を見ずえて、将来も社会で活躍しつづけるための学びがよいよ始まります。

ビジネスに必要となる主要4分野と  
「英語」「法律」「統計」を修得



## 「卒業してから」を、考え続ける学部。

東京の真ん中で、ビジネスを。

共立女子大学 ビジネス学部 (仮称)

※2020年4月開設予定(設置認可申請中) 名称・内容などは予定につき、変更する場合があります。